

U-ToC日本語教室 第1期初級クラス

第1期初級クラスは4/10～9/26に開講し、5か国11名の学習者が修了しました。このクラスでは、ひらがなカタカナから始まり、会話や文法学習を経て、プロジェクトワークを行いました。プロジェクトワークは、グループ活動でアンケート作成や日本人へインタビューを行った後、結果のまとめを作成し、最後に発表会を行います。この活動の目標は、日本社会と繋がることや自分の持っている日本語を活用して、生活で出会う課題を乗り越えること、自律的な学習習慣を身に着けることです。

今期は「どうして日本人はやせていますか」「どうして日本人は英語をあまり使いませんか」「どうして日本は安全ですか」のテーマで行いました。活動内では、大学生やボランティアさんを招き日本語を使ってインタビュー、ポスター作成をしました。発表会には、ボランティア活動をしている方や地域の約50名に会場していただきました。発表の後は来場者との交流会が行われ、学習者は学んだ日本語を使って、コミュニケーションを取ることができました。来場者アンケートには「半年間の努力が感じられた」「学習者の日本語が上手で驚いた」「着眼点が面白い」などの意見が寄せられました。

また、今期はプロジェクトワークで作成したポスターや資料を浜松市科学館で開催された「科学の学園祭2023」へ展示させていただきました。展示を熱心に見る親子連れや若者の姿が見られ、今までU-ToCを知らなかった科学館の来館者に多くの外国人市民がU-ToCで日本語を学習していることを知っていただく機会となりました。

今後も学んだ日本語を使って会話ができるようになった学習者が、自信を持って日本で生活ができるよう、いろいろな場で成果報告をしていきたいと思っています。



発表会の様子



浜松市科学館「科学の学園祭2023」の展示

グローバル人材セミナー

「なぜ日本人はゾウを食べないのですか? ～食べものの多様性から持続可能な世界のあり方を考える～」(10月15日(日)開催)

講師に武田淳氏(静岡文化芸術大学准教授)を迎え、「パバアニュギニアの狩猟採集民族は狩りをしない。なぜ?」「世界には、主食となる食用食物は3万種あるにもかかわらず、なぜ、小麦、とうもろこし、米の3種類が消費量の3/4を占めるのか?」など、刺激的な問いかけを始め、ワークショップ形式で話を進めていただきました。半定住の狩猟採集時代には、持続可能な食糧採集をするために、虫などありとあらゆる小さな獲物や野草の植物を食べながら、自然を奪奪せず自然の循環の中で人々は生きていたといえます。それが一部の人が富を収奪し蓄えるために定住が強制され、集積や保存、分配に便利で小麦、とうもろこし、米に主食が集約していった、ということです。そして、現代の私たちは定住が豊かさにつながったという支配者に都合のよいストーリーを教えられている。見渡せば私たちの周りにはどんぐりを始め食べられる野草など食物で満ちている。それを識別し利用する知恵は、何者にも支配されず自然の循環の中で豊かに生きていく知恵でもある。それは持続可能な世界のあり方を考える際のヒントになる、という目からウロコのお話でした。参加者50名は大いに刺激を受け、活発に意見交換もなされました。



どんぐりを食べるワークショップも行われました。

浜松市日本語教室 ひらがな・カタカナ・漢字クラス

浜松市は、文化庁「地域における日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、市内の地域日本語教育の体制整備を進めています。その一環として、HICEは浜松市より委託を受け、NPO等支援団体とともに、日本語教室「ひらがな・カタカナ・漢字クラス」を市内3か所の協働センターで開講しました。



浜北区クラス

5月から8月まで実施した浜北区クラスには、5か国13人の学習者が申し込み、教室では文字学習に加えて、浜松市のごみカレンダーや防災ホットメールなどの生活情報を学びました。滞在年数が長い学習者からは「浜松に住み始めた当初の知識のまま生活していたので、改めて生活情報を知ることができて良かった」という声をいただきました。8月から11月まで実施した南区クラスには、3か国12人の学習者が申し込みました。文字学習への意欲が高く、ひらがなカタカナのテキストを予習・復習したり、漢字のプリントに丁寧に書き込んだりする姿が見られ、最終回アンケートには「看板や商品名がわかるようになって嬉しかった」「教室で勉強して自信を持つことができた」という学習効果を実感する感想が挙がりました。現在、12月から2月までの東区クラスが開講中です。

令和5年3月に策定された「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン」では、4つの推進施策のひとつとして「学習機会の確保・充実」が掲げられています。浜松市のどこに住んでいても日本語を学べる体制づくりが求められており、その実現には、市内で日本語学習支援活動を長年続けている団体との連携が必要不可欠です。今年度は、3つの団体の日本語教師のみならずと一緒に漢字テキストを作成中です。次年度も引き続き、支援団体と連携を深めながら教室を展開していきたいと思っています。



南区クラス

ブラジル人コミュニティライフステージ講座

これまでは日本・ブラジル社会保障協定や国民年金のしくみ、老後施設などについて取りあげてきましたが、今年はライフステージに合わせた体と心の健康について、8月27日、10月15日、12月10日に開催しました。

老後でも元気で過ごすための体づくりについては、ブラジル人パーソナルトレーナーの上地クリスチアン氏が講師を務めました。ブラジル人心理分析士のヴァンデル・ルイス・デビ氏は日頃の習慣と家族の支えで異国での孤独を乗り越えるために話し、最後には、ブラジル人エステ経営者の武田ウラ氏はいつでも若々しくいられる自分のためのヒントを紹介してくれました。会場はブラジル人が経営するスポーツジム「X Fitness Gym」(浜松市中央区天王町)で参加しやすい、約30名の参加者は様々な分野の専門家の視点から楽しく「身」「心」「美」の健康について意識を高めることができました。



会場はスポーツジム「X Fitness Gym」で開催



パーソナルトレーナーの上地クリスチアン氏



メンタルヘルス専門家 デビデ・ヴァンデル氏



エステサロン経営者 武田ウラ氏

インターカルチュラル・シティ： 地域で活躍する外国人市民インタビュー (取材年:2021年)

IBUMARI株式会社 / デザインディレクター・創業者 イヴ・プラタールさん

人が大事に思うものを作る満足感 音楽のまち・浜松での豊かな仕事

「人々が大切に作るものを作る。この仕事がとても気に入っています」。イヴさんはデザインという仕事を通して楽器の制作に携わり、かつ楽器から生み出される音、そして音楽のある豊かな生活をも人々に提供しているのです。

このきっかけとなったのは浜松市に本社を置く楽器メーカーのヤマハ株式会社。イヴさんは7年間にわたる長い間、ヤマハ楽器のデザイン部門で仕事をしていました。リーマンショックなど世界的に激動の時代を日本で過ごしてきたイヴさん。「私がヤマハで所属していた部署には外国人が常に3～4人いて、4年ほどで契約満了となるのが一般的です。定期的に新しい風を入れることが目的だと思います。でも私は時代背景やさまざまな理由により、レアなケースでしたが長期雇用ヤマハで仕事をすることができました。彼らの仕事はプロとして優れているし、尊敬しています。ビジネスの方法も時間をかけて物事を深めていくスタイルで、とても心地良く好きです」。

母国から遠く離れた浜松市。当初は縁もゆかりもないこの町で暮らすのですが、今は妻と二人の娘、そして自身が代表となって構えるデザイン事務所を拠点に快適な生活が続いています。

創造する喜びに夢中だった幼少期 胸に秘めたデザインへのあこがれ

イヴさんはフランス生まれ。ビジネス、食事、映画など刺激的な文化を持つ大都市・リヨンからはほど近くにあるボージョレ近郊の町で生まれました。ゆったりとした静かな田舎町です。

幼いころは組み立て式のおもちゃ「メカノ」が大好き。パッケージには男の子が大好きなスポーツカーやバイクなどが猛スピードで駆け抜ける完成形が描かれています。ところがイヴ少年が組み立てるのはいつもパッケージとは違う姿。家族や親せきは「どうしてデザインのように作らないんだ?」と問いかけますが、イヴ少年はまったく耳を貸しません。「当時から自分のやり方でモノづくりをしたかったです。それが楽しかったんですから」



イブマリアデザインスタジオにて

「いつかは自動車デザインの仕事をしたいですね」と意欲的に話すイヴさん。今後は自身の会社「イブマリア」をより大きく成長させ、日本人デザイナーを雇いたいとも考えています。日本とフランスの良いところを組み合わせで新しいサービスを提供することが現在の目標です。

超多忙な日々に対する違和感 転職で見えた好きな仕事のスタイル

大学を卒業する際、インターンシップとしてバリのデザイン事務所で働くことになったイヴさん。スタッフは6～8人程度と小規模でしたが、プジョーやタグ・ホイヤーなど世界中で人気を集めるブランドを顧客に持ち、また電子機器や家具など多岐にわたるデザインを手掛けている事務所でした。ここでの5年間は「厳しいプレッシャーの日々。ゆっくり何かを考える時間はありませんでした」と当時を振り返るイヴさん。デザインの分野でも2000年ごろはパソコンへの過渡期で、これまで手書きで行われていたことがデザインソフトの普及により業務内容が一変しました。当時の上司たちはそのギャップを埋めることができず、辞めていった人も少なくなかったそうです。



地域で活躍する外国人市民インタビュー IBUMARI株式会社 デザインディレクター・創業者 イヴ・プラタールさん

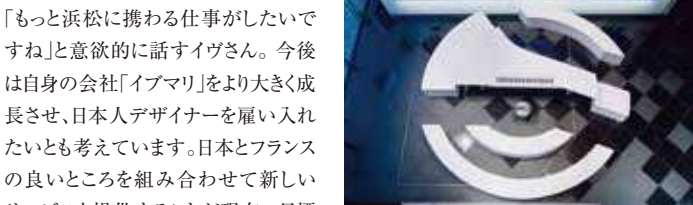
そんなある日、スコットランドの友人から「こちらの生活は良いよ。おいでよ」と誘いがありました。超多忙な毎日に辟易していたイヴさんはバリを離れることを決意。企業インタビューをしながら3か月かけてイギリスを巡り、ニューカッスルのデザイン事務所に転職することになりました。この事務所もまたバリと同じく工具やペーパー用品など幅広い製品のデザインをしていますが、大きな違いを感じたのは「使用性の追求」と「人とのつながり」。それは仕事の満足感につながるものでした。



イヴさんが手掛けたデザイン (DOUZE Cycles (プロトタイプ))

違いがあってもこそ日本 仏スタイルとの融合で新サービスを

「日本語は全然話せませんでした。でも、そんなことは全く気にならないくらいヤマハでの仕事に魅力を感じたのです。知り合いが誰もいない国に行くことはイギリスで経験しましたから、それも問題ではありませんでした」。食文化はもちろん、企業の在り方などフランスとは大小さまざまな違いがある日本。そんな違いをイヴさんは「セ・ラヴィ」と表現します。例えば、何かと保守的な思考が強い日本ですが「それが無くなってしまえば、もはや日本ではないと思います。それと同様にほかのことも違いがあってもこそ。そんな日本を受け入れて楽しむことが好きです」と話します。また「日本人はフランス人に対して好意的な人が多いように感じています。それは僕が先に日本に来たフランス人が僕にもたらした幸運です」とも。



イヴさんが手掛けたデザイン (YAMAHA key between people)

イヴ・プラタール

フランス・リヨン市出身。機械工学と工業デザインを専攻し、2000年に卒業。パリやイギリスのデザイン事務所で働いた後、2007年からシニアデザイナーとしてヤマハ株式会社デザイン研究所で勤務する。2014年に浜松市でイブマリア・デザイン・スタジオを設立し独立。長年にわたるオーディオ機器、楽器、モビリティなどの製品開発において、様々な知識と経験を築いてきた。日本企業や国際企業に対し、独創的で適切なデザインを提案することを目標としている。

第14回 浜松で世界を感じ・出会い・楽しむ1日

入場無料



はままつグローバルフェア

2024 2/11 11:00-16:00
会場: クリエート浜松
浜松市中央区早馬町2-1 (近鉄「遠州病院駅」東隣)

プログラムは
HICEのHPを
ご覧ください▼



1F ワールドマーケット
おいしい! 楽しい! 世界のお店が集まります♪ インドの雑貨、オーストラリアのお菓子、ペルーの焼き菓子や髪飾り、フィリピンの食べ物、ジンバブエの手工芸品、ネパールのお菓子、中国のお茶、ブラジルのお菓子や小物、インドネシアの民族衣装、世界を感じるゲーム体験、フェルトフード「食品・コーヒー」とれたて野菜などなどお楽しみに!
インドネシアにおいてー マリマリインドネシア〜
インドネシアの皆さんと一緒に踊ったり楽器を鳴らしてみませんか?
日本と世界の交通安全事情
世界の交通安全事情ってどんなだろう? 自分の身を守るために必要な交通ルール・マナーを再確認しよう!
入国審査体験 あなたも入国審査官になってみよう!

2F 国際理解教育ワークショップ
楽しく海外や国内の多文化についてのワークショップを体験!
第3回フィリピン語スピーチコンテスト・フィリピンの文化紹介
フィリピンの文化や社会を知り、体験できる!
聞こう!話そう! ワクワドキドキ 天電ICTクラス発表会&交流会2024
日本語を学ぶ天電ICTクラスの学習者のスピーチを聞いて、交流会でおしゃべりしよう!

5F みんなが笑顔になるために ~多文化共生と平和~
ポーランドでウクライナ支援をする坂本氏からウクライナの今を聞こう! ウクライナコーヒーの試飲、子供たちの絵画展、ワークと民族衣装試着など
バディルム特別編・せかいをまわろう! ~これから文化祭~
インド、アイルランド、ベトナムなど6か国のブースを回ってその国の人と話そう! クイズやゲーム、パオパブホッティ、インドダンスなど、楽しいことがいっぱい! 書道体験もあるよ!
インドネシア・パングラデシュなどの文化紹介
毎年大人気の文化紹介の部屋。一歩入れればそこは…
Kawaii! 練りきり! 和菓子作りと抹茶体験

4F 外国人向け生活相談会 生活相談や、労働、在留資格、法律などについて専門家に相談ができます
ハイスにそうだん ボランティアしたい、外国人について知りたい、国際交流したい、地球全体を考えた方、ぜひお越しください

イベント スケジュール

1/25 異文化理解と経営戦略セミナー ~外国人材が辞めない職場~
クリエート浜松 2Fホール

1/27 . 2/3 外国人のための税務相談
多文化共生センター

1/28 コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップ
多文化共生センター
SDGsのテーマを切り口に未来の社会を描きたい方、思いを形にするきっかけをつくりませんか?

2/10 通訳者のためのスキルアップ研修
多文化共生センター

2/11 第14回はままつグローバルフェア
クリエート浜松

3/20 U-ToC日本語教室第2期初級クラス プロジェクトワーク発表会 ~日本で気になる、あのことについて調べました!~
外国人学習支援センター ※要申込み

お知らせ
1/15 . 2/14 多文化共生・国際交流推進事業費助成金の相談受付 ※申請締切(予定):2月14日(水)

1/29 . 2/26 . 3/11 多文化共生センター 休館のお知らせ
クリエート浜松の休館に伴い、多文化共生センターは終日お休みします。

日本語で困っている外国人社員の方へ
あなたの会社に日本語教師、派遣します!
ご要望に合わせたカリキュラムをオーダーメイド。まずはお電話を!
学校法人静岡理工科大学 浜松日本語学院 Hamamatsu Japan Language College (担当: 松葉 / 鈴木) Tel.053-450-6590

浜松市多文化共生センター 紹介動画
浜松国際交流協会公式YouTubeチャンネル Consultation Hamamatsu
Yasashii Nihongo やさしい日本語
Tiếng Việt ベトナム語
Português ポルトガル語
English 英語
Filipino フィリピン語
日本語

日本語教師養成講座
一文化庁届出受理講座 420時間カリキュラム対応一
オンライン / 通学 選べる学習スタイル
2021年日本語教育能力検定 合格率 **69.5%** 全国平均の **2.3倍** 受験者305名中212名合格
教育訓練給付制度指定講座 受講料の最大 **20%** 上限 **10万円** が給付されます ※条件あり
日本語教師講座説明会 毎日開催! (無料/事前予約制)
①11:00~ ②14:00~ ③16:00~ ④19:00~
入学金50%OFF
human ヒューマンアカデミー
浜松校 静岡県浜松市中区観音町14番地 浜松ビル6階 ☎0120-490-192